



北の沢

札幌市立北の沢小学校

学校便り No.9

令和5年(2023年)11月30日

HPアドレス <http://www.kitanosawa-e.sapporo-c.ed.jp>

みんなちがって、みんないい ～一人一人が魅せた学習発表会～

校長 西村 貴史

去る11月18日、「第42回 学習発表会 保護者観覧日」を開催いたしました。

子どもたちは学習発表会に向けて、日々の学習の成果や積み上げを発表しようとして準備に取り組んでまいりました。しかし、発表会直前のインフルエンザの流行により、閉鎖措置をとった学級をはじめ、思うように学習や準備が進められない状況に、子どもたちの体調面はもちろん、その心のあり様を心配しておりました。

当日を迎え、私の心配は杞憂に過ぎませんでした。たくさんの保護者や地域、関係者の方々に見守られ、どの学年もこれまでの学習や準備の成果を全力で発表することができたからです。全員の気持ちが一つになった発表であったことに加え、私が何より嬉しかったことは、「一人一人が映える発表」であったことです。まさに児童会テーマ「個性という名の色」が表すように、一人一人の表情や声、動きの一つ一つに魅せられました。

そして、会場の皆様から子どもたちの頑張りに送られた、盛大であたたかい拍手にも大いに感動させていただいた、北の沢小学校の学習発表会でした。本当にありがとうございました。



『みんなちがって、みんないい』…私の大好きな言葉で、詩人 金子みすゞの代表作「私と小鳥と鈴と」の結びの一節です。小学3年国語の教科書で扱われ、3年生が学習発表会でも披露していました。私がこの詩に出合ったのは30年ほど前、同じ学校に勤めていた先輩が教室掲示していたものを見た時でした。その先輩の学級は、子ども同士の仲が良く、授業中に伸び伸びと発表し合うという、若手教師であった私の憧れの学級でした。

令和4年度より、札幌市が学校教育の重点の基盤としているのが、『人間尊重の教育 子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり』であり、学校・家庭・地域が一体となって、子どもの学びと成長を支えていくことが求められています。



本校の開校時に制定された『校章のこころ』を見ると、「後方の円は、学校と地域と保護者と児童の連帯を表すとともに、世界と結ぶ平和の輪を表す」（抜粋）と既に記されています。

私が、様々な教育活動から感じていた、子どもたち一人一人をあたたく育む、北の沢小学校の『学校・家庭・地域の一体感』は、開校から現在、そして、未来に向けて、自慢できる宝物であると確信した、冬の始まりです。